

2017年5月11日

横須賀市長 吉田雄人 殿

産業交流プラザの今後を考える市民の会

産業交流プラザについて、横須賀市は来年平成30年4月に、その貸会議室の全てを総合福祉会館に統合し、同所にはデュオよこすか、消費生活センター、更生保護センターを移転する計画であると聞いています。(3月21日、ヨコスカをよくする会が主催した出前トークで横須賀市の複数の部署の担当者から聴取)

産業交流プラザは床面積が約2,500平方mあり、9つの会議室と広いオープンスペースがあります。ここに、上記の三施設(合計約462平方m)を移転しても、現在の会議室のスペース(合計803平方m)を上回る床面積が残ります。その結果、相当数の会議室やスペースが遊休化することになります。

産業交流プラザの貸会議室は総合福祉会館のものに比較して、駅から近く、予約が取りやすく、中程度の集会に適切で、会場設営など利用者の便宜を図ってくれることから、バリアー・フリーの点での不満はあるものの、これまで多くの団体・市民が利用して来ました。

私達は、産業交流プラザの関係者に対して、無作為にアンケート調査を実施した結果、別紙のとおり結果を得ました。それによると、同所の貸会議室の統合廃止に反対が76%、今後の産業交流プラザスペースについて、遊休化する部分を貸室として残す案を27%、複合施設として生まれ変わらせる案を74%が支持しています。意見欄には、廃止されることについての様々な問題点と、希望する市民本位の活用方策が記載されています。

これを基に、下記要望事項をまとめましたので、よろしくご回答願います。

- 1、問題が山積するこの移転について、今年8月に計画を決定し、来年4月に貸会議室を廃止するというスケジュールは拙速です。一旦凍結して下さい。
- 2、産業交流プラザの貸会議室の統合廃止に反対する市民の声が多数あるのを踏まえ、遊休化する貸室の一部を、管理費用についての削減策を講じつつ存続させて下さい。
- 3、産業交流プラザの遊休化するスペースを、市民の要望が強い市民交流の場としての複合施設に生まれ変わらせるなど、活用して下さい。
- 4、上記2・3の方策を市民参加で検討するために、早急に、市民との意見交換会、ないしは市民参加の継続的協議・検討の場を設けて下さい。

本件は、市民の福祉に大きな影響があります。本来、市議会での審議が必要なマターであると考えますので、上記と同様な趣旨について市議会に請願します。

また、先の市民活動サポート・センターの問題と同様、市長が市民活動を大切にしている姿勢をもっているかが問われる問題でもあると考えます。上記について、5月中に、市長と私たちとの意見交換の場を設けて頂き、回答を頂けるように要請します。